

平成25年度福井県立高等学校入学者選抜学力検査の結果について

全日制・定時制の第1次の学力検査合格者 4,489人（昨年度4,726人）に関する課程別・教科別の平均点は、表1のとおりである。

また、推薦入学、中高一貫教育校入学者選抜、第1次学力検査および第2次学力検査の課程別の合格者数は、表2のとおりである。

（ ）内は、前年度のものである。

表1 課程別・教科別の平均点

教科	全 日 制	定 時 制
国 語	63.9 (69.4)	33.7 (37.5)
英 語	72.2 (62.5)	24.8 (17.6)
数 学	55.7 (52.8)	16.7 (13.5)
社 会	64.3 (59.9)	
理 科	61.4 (59.8)	
総 点	317.5 (304.5)	76.8 (67.4)

表2 課程別の合格者数

	全 日 制	定 時 制	合 計
推薦入学によるもの	934 (975)		934 (975)
連携型中高一貫教育校入学者選抜によるもの	95 (114)		95 (114)
1次学力検査によるもの	4,315 (4,582)	174 (180)	4,489 (4,762)
2次学力検査によるもの	35 (32)	69 (56)	104 (88)
計	5,379 (5,703)	243 (236)	5,622 (5,939)
充足率	98.2% (99.2%)	50.6% (49.2%)	94.4% (95.3%)

<参考>

募集定員	5,475 (5,750)	480 (480)	5,955 (6,230)
------	---------------	-----------	---------------

平成25年度福井県立高等学校入学選抜学力検査 各教科の概要

【国語】

説明的な文章を読んで筆者の問題意識を読み取る問題や、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題、漢字の読み書きや書写、語彙等の基礎的・基本的問題については、良好な結果であった。しかし、文学的文章や古文を読んで登場人物の心情を説明する問題、話し合いと資料を読んで自分の考えを作文する問題などで学力差が見られた。特に文学的文章を読んで、登場人物の言動の意味などを考えて読解し、読み取ったことを自分の言葉で説明する力の育成が望まれる。

【英語】

まとまった量の英文を読んで概要や大切な部分を読み取る問題（特に、人物を挙げる問題）およびまとまった量の英語を聞いて大切な部分を理解する問題については、おおむね良好な結果であったが、読み取った内容を日本語でまとめて書く問題および聞き取った内容に対して自分の考えを英語で書く問題などの表現力を必要とする問題で学力差がみられた。特に、英語で自分の考えを表現する力の育成が望まれる。

【数学】

数量、図形、関数などに関する基礎的な概念や原理・法則を理解して、数学的に処理する問題については、おおむね良好な結果であった。しかし、やや長い文章や表などから題意を読み取り、数学的に表現する問題、図形に関する概念や性質を活用して事象を数理的に考察する問題で学力差が見られた。特に、読解力、表現力の育成を図り、理解した概念や原理・法則を活用していく力の育成が望まれる。

【社会】

福井県の工業の特徴を他県と比較し資料を活用して答える問題や近年の日本の商業に関する特徴を考える問題、日本史や公民の基本的知識を問う問題についてはおおむね良好な結果であった。しかし、日本国憲法の改正手続の過程を並べ替える問題や日本史の年代を並べ替える問題、歴史的事象および公民的事象を説明する問題については学力差が見られた。特に、時系列に事象を考えることができる力や文章で説明する力の育成が望まれる。

【理科】

観察、実験などを通して身に付いた科学的に探究する能力を活用して答える問題や基礎的・基本的な知識を答える問題についてはおおむね良好な結果であった。しかし、日常生活と関連付けた科学的な見方や考え方および総合的なものの見方によって答える問題については学力差が見られた。特に、観察、実験の結果を考察し、論理的に問題を解決したり現象を説明したりする力の育成が望まれる。